



## 魚津市補正予算（案）について

### （6月議会 提出案件）

新型コロナウイルス感染症対策第3弾を含む補正予算について、以下のとおり編成いたしました。安全・安心な市民生活の確保及び地域経済の回復等に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

#### 【補正内容】

#### 1 一般会計補正予算

(単位：千円)

既定額	補正額	合計	主な歳出項目
20,955,000	465,895	21,420,895	<u>&lt;コロナ対策&gt;</u> 計 421,667千円 ①災害備蓄用品整備（避難所感染防止） 13,504 ②応援チケット付商品券発行 270,000 ③雇用維持等相談窓口設置（社労士等） 3,000 ④県外学生応援（ふるさと便送付） 3,600 ⑤ICT環境整備（GIGAスクール） 110,038 ⑥GIGAスクールサポーター配置支援 4,025 ⑦オンライン心の健康相談支援 1,000 ⑧住居確保給付金支給 4,000 ⑨児童施設保健衛生環境整備（16施設） 7,999 ⑩ひとり親家庭等応援（お米券配布） 2,500 ⑪児童手当等感染症対策（郵送受付） 341 ⑫給食用物資供給事業者への補助金 1,660 <u>&lt;その他事業&gt;</u> 広域連携推進事業ほか10事業 44,228

#### 2 補正財源

(単位：千円)

歳入	補正額	主な財源
国・県支出金	129,820	<u>&lt;国の緊急経済対策分&gt;</u> 情報通信ネットワーク整備費等補助金 56,417 地方創生臨時交付金 42,856 保育対策総合支援事業費補助金 7,500 <u>&lt;その他&gt;</u> 新たな広域連携促進事業委託金 7,707
寄付金	1,050	地域づくり推進事業基金寄附金 1,050
その他	205,178	商品券販売収入 200,000 コミュニティ助成事業助成金 3,900 学校臨時休業対策費補助金 1,278
繰越金	129,847	

## 【拡充】災害備蓄用品整備事業

避難所における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止するとともに良好な避難生活環境を確保するため、必要な資機材等を緊急整備するもの

### 【目的】

- ①密接しやすい避難所内において、避難者それぞれのスペースを確保し、避難者同士の接触を低減することで感染のリスクを下げる。
- ②発熱・咳等の症状がある方の避難スペースを別に設けることで、安静に過ごしてもらうとともに、避難所内で感染が拡大することを防止する。

### 【整備する資機材】

簡易パーテーション、マット、段ボールベッド、簡易トイレ、非接触型体温計

### 【整備する資機材等の数量】

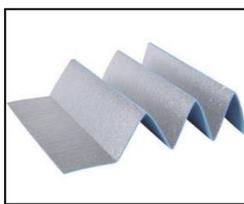
避難者1,500人分

※呉羽山断層帯地震の被害想定における4日後避難者数 7,498人の2割程度を想定

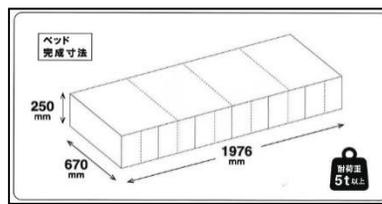
※現物備蓄と合わせて、流通備蓄を推進するため、民間事業者との協定締結を予定



簡易パーテーション



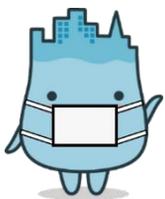
マット



段ボールベッド



簡易トイレ



### 【事業費】

13,504千円

【財源】新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 13,504千円

【担当】総務課 23-1078

## 【新規】応援チケット付商品券発行事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により売り上げが減少している事業者を応援するため、応援チケットをセットにした商品券を発行し、市全体の消費喚起を図る。

【発行額】 2億6千万円

応援チケット(3千円分)+商品券(1万円分)を1万円で販売(2万セット)

応援チケットは応援事業所で使用可能

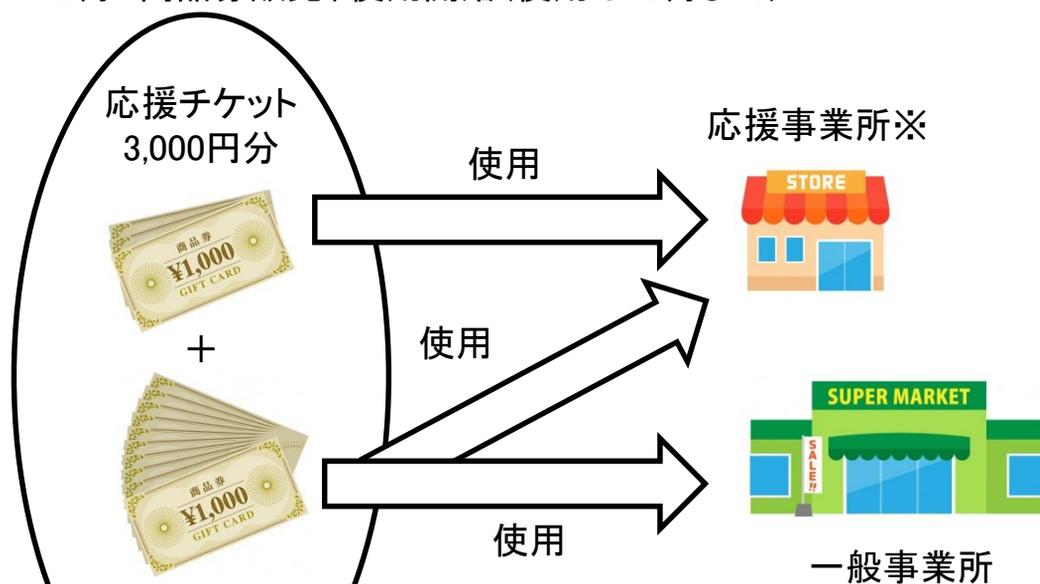
(商品券は応援事業所、一般事業所いずれでも使用可能)

※応援事業所は一定以上売上が減少した事業所を登録

【スケジュール】(予定)

7月 事業所募集

8月 商品券販売、使用開始(使用は12月まで)



【事業費】 270,000千円  
(事務費10,000千円含む)

【財源】新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 19,342千円  
その他(販売収入) 200,000千円  
一般財源 50,658千円

【担当】商工観光課 23-6195

## 【新規】雇用維持等相談窓口設置事業

市内の雇用を維持するため、企業等の各種制度利用が推進されるよう、申請などを支援する相談窓口を魚津商工会議所に設置し、今後の状況変化に合わせて幅広い相談内容に対応

### 【内容】

窓口開設期間：令和2年7月～3年1月の平日（予約制）

報償費：社会保険労務士等専門家への謝礼 256万円

委託料：日程調整業務、PR業務等 44万円



【事業費】 3,000千円

【財源】新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 3,000千円

【担当】商工観光課 23-6195

## 【新規】 ふるさと魚津発 県外学生応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生のアルバイトが激減し、学費や生活費に困窮するケースが多くなっている。ふるさと便「うおづの詰め合わせ」を送付することで、本市出身学生にふるさと魚津とのつながりを感じてもらい、県外での生活支援と不安解消につなげる。

【対象者】 700人

魚津市出身の県外に住む学生で以下の条件を満たす方

- ・大学、大学院、短大、専修学校、予備校に在学している方
  - ・保護者の住民登録が魚津市内である方
  - ・今後発信予定の「魚津市のまちづくり情報」を受け取っていただける方
- ※住民登録を魚津市に置いたまま、県外に居住している学生も含まれます。

【送付物】

うおづのうまい水・魚津産米・りんごジュース・海産加工物等

【事業実施期間】

令和2年6月22日～令和2年7月31日(予定)



【事業費】 3,600千円

【財 源】 新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 3,600千円

【担 当】 地域協働課 23-1095

## 【拡充】ICT環境整備事業(GIGAスクール)

国の緊急経済対策に伴うGIGAスクール構想 (ICT環境整備事業) の加速化により、小・中学校すべての学年においてICT環境(タブレット)を整備

【当初予算計上分】 小学5・6年、中学1年

【6月補正計上分】 小学1～4年、中学2・3年

補正分	台数 (台)	タブレット (千円)	初期設定 (千円)	ネットワーク設定 (千円)	合計 (千円)
小学校	911	40,995	18,220	8,199	67,414
中学校	576	25,920	11,520	5,184	42,624
	① 1,487	66,915	29,740	13,383	110,038

※令和元年度までの整備済分326台…②

※令和2年度当初予算計上分970台…③

①～③計2,783台を整備予定

【事業費】 110,038千円  
 【財源】情報通信ネットワーク整備費等  
 補助金 54,405千円  
 【担当】教育総務課 23-1043

## 【新規】GIGAスクールサポーター配置支援事業

学校におけるICT環境整備の設計や使用マニュアルの作成を行う技術者を配置



【事業費】 4,025千円  
 【財源】公立学校情報機器整備費補助金  
 2,012千円  
 新型コロナウイルス感染症対応  
 地方創生臨時交付金 1,610千円  
 【担当】教育総務課 23-1043

## 【新規】オンライン心の健康相談支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う心身の健康不安や生活上の心配事に対して、場所や時間に縛られずに相談できる環境の充実を図ります。

メール・SNS・専用電話等による相談体制を整備することにより、若者や遠方に生活する家族からの相談にも対応し、危機的な状態にならないよう、生きることへの包括的な支援を実施します。

【内 容】 相談専用タブレットの購入(4台)  
相談環境整備のための通信料や消耗品費

【事業費】 備品購入費 480千円、通信使用料288千円、消耗品費232千円  
合計 1,000千円



【事業費】 1,000千円

【財 源】 新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 1,000千円

【担 当】 社会福祉課 23-1093

## 【拡充】魚津市住居確保給付事業

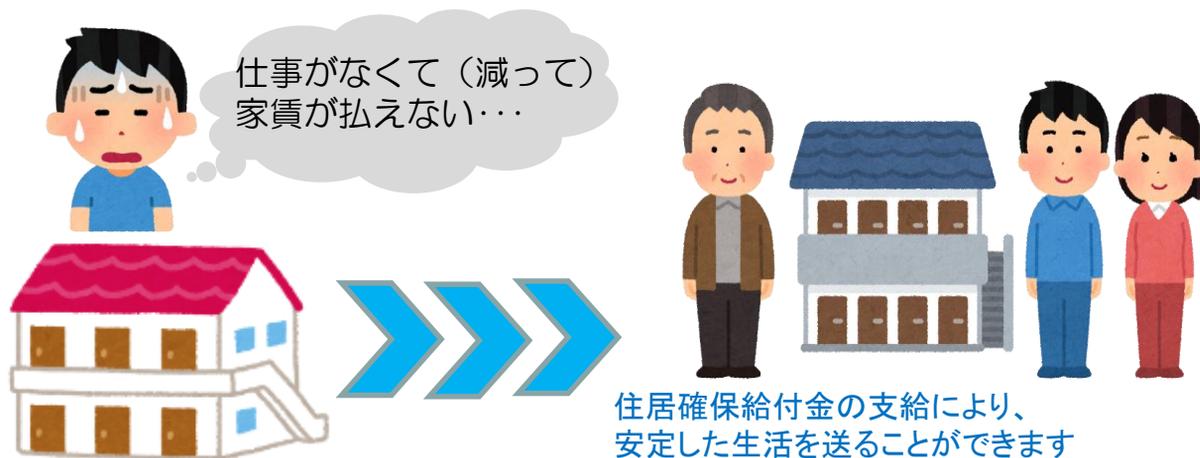
住居確保給付金制度(※)について、新型コロナウイルス感染症に係る支援策として、離職だけでなく休業等により収入がなくなった方も対象とする制度拡充が行われたもの

※住居確保給付金制度

生活困窮者自立支援法に基づき、離職等により経済的に困窮し住居を失うおそれが生じているの方々に対し、原則3か月(最大9ヶ月)、家賃相当額(上限あり)を支給する制度

### 【算出根拠】

当初予算：2世帯分	400千円計上
6月補正：18世帯 × 平均家賃 24,600円 × 9ヶ月 ÷	4,000千円
合計：20世帯分	4,400千円



【事業費】 4,000千円

【財源】 生活保護費負担金 3,000千円  
 新型コロナウイルス感染症対応  
 地方創生臨時交付金 800千円  
 一般財源 200千円

【担当】 社会福祉課 23-1077